

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公開番号】特開2014-203761(P2014-203761A)

【公開日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2013-80931(P2013-80931)

【国際特許分類】

F 21S 2/00 (2006.01)

G 02B 6/00 (2006.01)

H 01L 33/48 (2010.01)

F 21Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21S 2/00 4 3 3

F 21S 2/00 4 3 5

F 21S 2/00 4 3 9

G 02B 6/00 3 3 1

H 01L 33/00 4 0 0

F 21Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月3日(2014.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上面が出光面、下面が反出光面、側面が入射面からなり、透明材料からなる方形平板状の導光体と、

該導光体の前記側面にそれぞれ対向して配置されるLEDと、

前記導光体の前記下面に配置され、前記LEDから出光した光を前記導光体内で反射させる反射部材と、を有し、

前記導光体は、前記出光面及び前記反出光面に複数の凹部を有することを特徴とするLED照明装置。

【請求項2】

前記複数の凹部は、光を透過させる透過部と、光を透過させない非透過部とから形成されていることを特徴とする請求項1記載のLED照明装置。

【請求項3】

前記凹部は、隣り合う該凹部との間隔パターンを変えて形成されていることを特徴とする請求項2記載のLED照明装置。

【請求項4】

前記LEDは、紫外線発光型LEDであることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載のLED照明装置。

【請求項5】

前記導光体は、特定の波長のみを透過させることができる透明材料から形成されていることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載のLED照明装置。

【請求項6】

請求項 1 ~ 4 に記載の L E D 照明装置を積層させ、各 L E D 照明装置からの発光する光を同一方向から出光させることにより、出光の光量を加算することができる特徴とする L E D 照明装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するために本発明の L E D 照明装置は、上面が出光面、下面が反出光面、側面が入射面からなり、透明材料からなる方形平板状の導光体と、該導光体の前記側面にそれぞれ対向して配置される L E D と、前記導光体の前記下面に配置され、前記 L E D から出光した光を前記導光体内で反射させる反射部材と、を有し、前記導光体は、前記出光面及び前記反出光面に複数の凹部を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

また、本発明の L E D 照明装置は、前記 L E D は、紫外線発光型 L E D であることを特徴とする。